



記載が必要な内容	
作成上の留意点	・電源元からV2H充放電設備まで専用配線で結線されていることを審査するために用います。
	・図面は手書き可とします。
共通事項	①図面基本情報
	・設置場所 例) ○○庁舎 V2H充放電設備設置工事 ※設置場所名称が確認できること
	・図面名称 例) 電気系統図
	・作成者 例) 次世代商事(株) 次世代 二郎
	・縮尺 例) — ・作成日 例) 令和4年5月30日 ※本補助事業の申請受付開始日以降であること
電気系統図	②V2H充放電設備の仕様
	・充電設備の種類 例) V2H充放電設備
	・メーカー名 例) 次世代電機(株)
	・型式 例) V2H-R-NEV
	③配電方式
	・配電方式を記載してください。 例) 1φ3W 100/200V
	④電源元の仕様
	・既設のキュービクル、分電盤、手元開閉器に盤名称がある場合は盤名称を記載してください。
	⑤ブレーカー、切替開閉器の仕様
V2H充放電設備設置工事に伴うブレーカーと切替開閉器は全て記載してください。	
・仕様 例) ELB2P2E	
・容量 例) 50AF/50AT	
※交換の場合は交換前、交換後を確認できるように記載してください。	
例) 交換前: ELB2P2E 20AF/20AT → 交換後: ELB2P2E 50AF/50AT	
⑥電源線	
V2H充放電設備設置工事に伴う電線を全て記載してください。	
⑦接地	
・接地箇所 どこから接地極へ配線するのかわかるように記載してください。	
・接地種別 例) Ec、Ed等	
・アース線 例) IV5.5sq	
⑧電灯配線	
・V2H充放電設備本体および充電スペースを照らすための電灯、案内板(自照、外照)等の電灯における配線がある場合には電気系統図に記載してください。	
・電灯配線にタイマースイッチ等を付ける場合も、電気系統図に記載してください。	
⑨太陽光発電システム等	
・太陽光発電システムと充放電設備を連携する場合は、太陽光発電の総出力(kW)を記載してください。	
・太陽光発電システム等(太陽光発電や蓄電池等)を充放電設備に接続する場合の電源線やブレーカー等も記載してください。	

※赤字は記載が必要 黒字は該当工事がある場合に記載が必要。

①

設置場所	○○庁舎 V2H充放電設備設置工事	図面名称	電気系統図
作成者	次世代商事(株) 次世代 二郎	縮尺	—
		作成日	令和4年5月30日